

きりたんぼ



「きりたんぼ」は秋田名物として全国に知られていますが、秋田県の中でも本場といえるのが大館市。

「きりたんぼ」の発祥は大館・北鹿地方で、その昔、炭焼きや秋田杉の伐採のため山籠りした祖先たちが山小屋で残ったご飯を練ってトリ鍋に入れたり、味噌を塗って食べたのが始まりと伝えられています。大館では、ごく普通の家庭料理として受け継がれおふくろの味になっており、一年を通じて各家庭で出され、本場ならではの「ごちそう」です。

秋、新米の出回る季節には、新米のきりたんぼと脂の乗った比内地鶏で味わう「本場大館きりたんぼまつり」に多くのお客様が集います。

とんぶり



アカザ科のホウキ草の種子を独特な技術で加工してできる「とんぶり」。強壮・利尿効果があるとされ、古くから漢方にも用いられている自然食品です。独特のプリプリした歯ごたえから、「畑のキャビア」とも呼ばれています。

比内地鶏



比内地鶏は、日本三大美味鶏のひとつに数えられており、出荷まで放し飼いにされ、150日以上かけて一羽一羽丹念に飼育されます。適度な歯ごたえとダシ汁の美味しさが最大の特徴で、本場大館「きりたんぼ鍋」の具材には欠かせない材料となっています。

忠犬ハチ公のふるさと

秋田県 大館市

お お だ て

ガイドマップ
ODATE GUIDE MAP

大館曲げわっぱ



大館というところ。

天然秋田杉

アクセスマップ ACCESS INFORMATION

高速道路



空路

東京(羽田空港)	ANA 70分	大館能代空港	車 約30分	大館
大阪(伊丹空港・関西国際空港)	羽田空港 ANA 70分 (乗り継ぎ)	大館能代空港	リムジンバス 約55分	

国内線予約・問い合わせ
TEL0570-029-222
秋北航空サービス(大館地区ANA総代理店)
TEL0186-45-0808

秋北タクシー(リムジン)
TEL0186-42-5454

鉄道・高速バス

札幌	JR空室本線経由 新函館北斗 北海道新幹線 新青森	JR奥羽本線	所要時間 7時間
盛岡	②みちのく号	秋北バス	TEL0186-43-3010
仙台		秋北バス(仙台線予約)	TEL0186-44-5566
東京	東北新幹線 新青森	JR奥羽本線	所要時間 約5時間
東京	東北新幹線 盛岡	JR花輪線	所要時間 約5時間30分
東京	JR秋田新幹線(こまち)	秋田	②みちのく号 所要時間 約5時間
池袋	②ジュビーター号	秋田	所要時間 約5時間
新大阪	東海道・東北新幹線 新青森	JR奥羽本線	所要時間 約8時間30分

●お問い合わせ

大館市観光案内所(秋田犬の里内) TEL.0186-57-8120
(一社)大館市観光協会 TEL/FAX.0186-42-4360
<http://www.dodasuka.com/>

大館市観光課

TEL.0186-43-7072 FAX.0186-48-6668
<https://www.city.odate.lg.jp/>

Design by

0DATE www.zero-date.org

※記載内容は、2021年1月1日現在の情報です。



民謡「秋田音頭」にも唄われている「大館曲げわっぱ」は、きこりが杉柁で曲物の器を作ったことに始まったとされています。

17世紀後半に大館城主となった佐竹西家が下級武士の副業として奨励したことから本格的に生産されるようになりました。

大館曲げわっぱ
(昭和55年 国指定伝統的工芸品)

天然秋田杉の柁目と木肌が特徴で、弁当箱やお盆など生活に密着した伝統工芸品です。大館曲げわっぱ協同組合では製作体験も受け入れています。



秋田杉桶樽
(昭和59年 国指定伝統的工芸品)



秋田杉を使った桶樽は歴史が古く、秋田城跡からは平安後期と推定される破片が発見されています。江戸時代に入ってから秋田藩主の保護のもと、大館地域でも大量に生産されるようになりました。近年は樽だけでなく、花器やワインクーラーなど様々な用途に活用されています。

たけのこ

山菜の宝庫・秋田でタケノコといえば「根曲がり竹」。5月～6月の初夏にかけて芽を出す若竹を収穫します。田代岳周辺で採れるものは太さと風味が自慢。根曲がり竹は独特の風味と甘みがあり、アクが少ないのが特徴です。



たけのこ祭り (6月)

田代岳をはじめとした田代地域の山々から山菜の便りが届くころに行われる。生たけのこやたけのこ汁の販売、たけのこ皮むき競争など、特産の「たけのこ」を存分に味わってください。

春



大館バラまつり (6月・10月)

約500種のバラが咲き誇る空間は「バラの博物館」。様々な種類のバラが身近に楽しめます。バラまつり期間以外でも咲いているバラをご覧ください。

- ジャジャシコ祭り (4月3日)
- 大館桜まつり (4月下旬～5月上旬)
- おおだて市日まつり (6月)
- 大日神社例祭/独鮎ばやし (旧暦5月28日)



まつり



大館大文字まつり (8月)

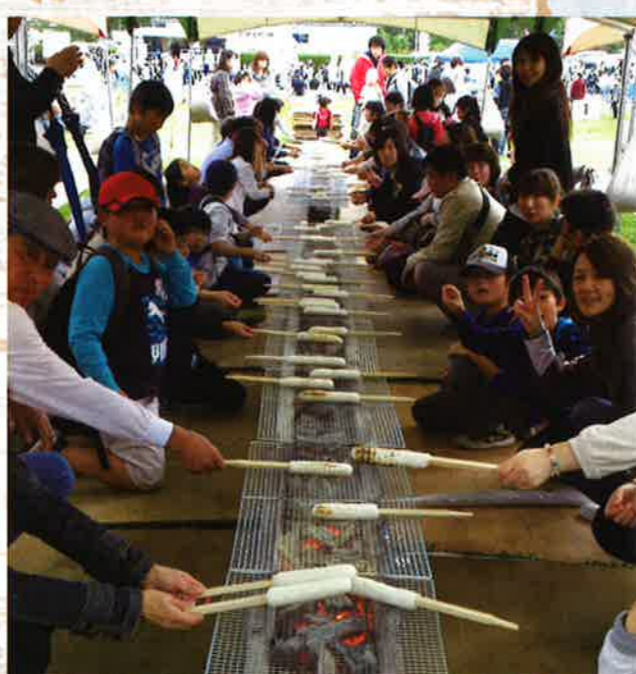
大館盆地の東に位置する「鳳凰山」に、日本一の大きさを誇る大文字が送り盆行事で点火され、花火とともに夜空を彩ります。日中は浴衣姿の踊り手による大文字踊りで盛り上がります。

夏

- 中野七夕 (8月13日)
- 扇田盆踊り (ハッタギ踊り) (8月)
- 大館の里ふるさとまつり (8月)

- 大館神明社例祭 (9月10・11日)
- 五色湖まつり (10月)

秋



本場大館きりたんぼまつり (10月)

収穫したばかりの新米で作られたきりたんぼと比内地鶏の取り合わせは本場ならではの、まつり会場ではたくさんのお店のきりたんぼを食べ比べたり、自分で串につけて焼き上げる「たんぼ一万本焼き」などが楽しめます。

大館アメッコ市 (2月第2土・日曜日)

天正16年から400年以上続く小正月行事。近くの山から「白髭大神」がアメを買いに来た伝説や、この日にアメを食べると風邪をひかないと言い伝えがあります。祭り会場ではたくさんの露店が趣向をこらした色とりどりのアメを販売します。

比内とりの市 (1月第4日曜日とその前日)

比内地鶏の本場、大館市比内地域で行われるお祭り。何秒間鳴けるかを競う「人間比内鶏永唱大会」や、丸鶏を串刺しにして炭火で焼く「比内地鶏千羽焼き」など、見る・食べる・遊ぶ・買うを楽しむ冬祭りです。



見どころ



あきたいぬ 秋田犬 忠犬ハチ公

日本犬で最初の国指定天然記念物「秋田犬」は、大館が主な原産地となっています。古くは闘犬でしたが、品位と威厳、がっしりとした骨格は愛犬家を魅了します。また、渋谷のトレードマーク「忠犬ハチ公」は大館市生まれ。飼い主亡き後も毎日駅前で帰りを待ち続けた従順な姿は、今でも語り継がれています。大館駅前と秋田犬会館前にハチ公の銅像が鎮座しているほか、大館市内には秋田犬やハチ公が描かれたものが見られるところで見られ、犬都・大館を象徴しています。

ながぼしり しぼやち 長走風穴・芝谷地湿原

大館市の北部、国見山の西側斜面にある風穴地帯は、崩壊した石英粗面岩の堆積によって構成され、岩石のすき間から風が吹き出て、真夏でも5～6度前後の冷風となる風穴は「天然クーラー」として楽しまれています。そのため、標高200m前後一帯に高山植物が群生し、学術的に極めて貴重な場所とされています。(国指定天然記念物)

芝谷地は低地に残された湿地で、湿原をおおってノハナショウブが群生し、モウゼンゴケ、ミミカキグサをはじめ、ネジバナ、サワギキョウ、トキノウなど学術上価値の高い多くの湿原植物が自生しています。昆虫では、トンボのなかまで最小とされるハッチョウトンボの生息が認められています。(国指定天然記念物)



長走風穴

芝谷地湿原

大館・小坂鉄道レールバイク

平成21年に百年の歴史に幕を閉じた小坂鉄道の廃線を使った大人気のアクティビティです。自転車を漕ぐようにして線路の上を進む、自分で列車を運転しているような楽しい乗り物です。ガタゴトという音と振動は列車そのもの。2人乗りから4人乗りまでレールバイクの種類も豊富です。小さなお子様や足腰に自信のない方には電動車で牽引するトロッコもあります。長木川溪流の自然を満喫できる常設コースのほか、各種イベント時には区間を変え、特設コースで運行されます。お問い合わせ・ご予約：0186-50-2555 [http:// railbike.jp](http://railbike.jp)

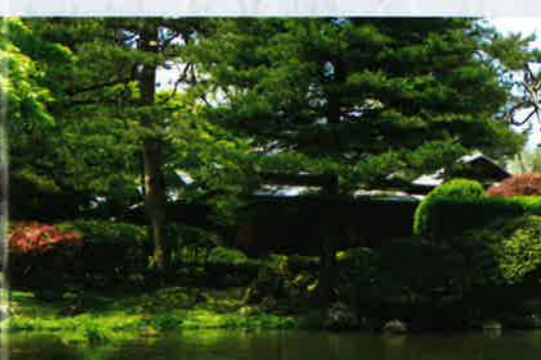


田代岳

田代岳は大館市の北端、秋田と青森の県境近くに位置する標高1,178mの山で、白神山地に属しています。9合目付近では高層湿原が形成され、120個以上の池塘が散在し、多くの高山植物が咲き誇ります。毎年7月の半夏生には池塘を「神の田」に見立てて作占いが行われます。

ニプロハチ公ドーム

世界最大級の木造ドームとして平成9年に完成しました。内部構造には直径20cm以上の秋田杉が約25,000本使われ、秋田杉の里にふさわしい施設です。全天候型の施設は、野球やサッカーなどのスポーツのほか、イベントや催事など幅広い用途に使われています。



とりがた 鳥潟会館

京都帝国大学名誉教授で日本外科学会会長をつとめた鳥潟隆三の生家であり、無線電話機を発明した鳥潟右一、軽業興業でヨーロッパで名声を博した鳥潟小三吉が幼年を過ごした「鳥潟家」。400年余りの歴史をもつ旧家で、昭和11年に約5年の歳月をかけて補修と増築をした建物(秋田県指定有形文化財)と、京都から造園師を招いて整備された京風庭園(秋田県指定名勝)は、東北有数の文化遺産と言われ、現在「鳥潟会館」として一般開放されています。

